

国公立大学図書館協力委員会平成 28 年度活動報告

I 委員会構成及び活動記録等

I-1 委員長館

平成 27 年 8 月 1 日～平成 28 年 7 月 31 日 慶應義塾大学

平成 28 年 8 月 1 日～平成 29 年 7 月 31 日 筑波大学

I-2 委員館 (* 常任幹事館)

国立大学 * 東京大学、* 筑波大学、京都大学、名古屋大学

公立大学 * 横浜市立大学、* 大阪市立大学 (～平成 28 年 7 月)、

* 大阪府立大学 (平成 28 年 8 月～)、首都大学東京

私立大学 * 慶應義塾大学、* 早稲田大学、東洋大学、学習院大学 (～平成 29 年 3 月)、

福岡大学 (～平成 29 年 3 月)、立命館大学 (～平成 29 年 3 月)、

名城大学 (平成 29 年 4 月～)、東海大学 (平成 29 年 4 月～)、

大阪工業大学 (平成 29 年 4 月～)

I-3 会議

1 本会議

1) 第 80 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 28 年 7 月 29 日 (金)

会 場 立命館大学衣笠キャンパス

2) 第 81 回国公立大学図書館協力委員会

期 日 平成 28 年 11 月 24 日 (木)

会 場 筑波大学東京キャンパス

2 常任幹事会関係

1) 平成 27 年度第 4 回常任幹事会担当者打ち合わせ

期 日 平成 28 年 6 月 27 日 (月)

会 場 慶應義塾大学三田キャンパス

2) 平成 27 年度第 2 回常任幹事会

期 日 平成 28 年 7 月 29 日 (金)

会 場 立命館大学衣笠キャンパス

3) 平成 28 年度第 1 回常任幹事会担当者打ち合わせ

期 日 平成 28 年 10 月 27 日 (木)

会 場 筑波大学東京キャンパス

4) 平成 28 年度第 1 回常任幹事会

期 日 平成 28 年 11 月 24 日 (木)

会 場 筑波大学東京キャンパス

5) 平成 28 年度第 2 回常任幹事館担当者打合せ

- 期 日 平成 29 年 3 月 15 日 (水)
会 場 筑波大学東京キャンパス
- 3 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議
- 1) 第 12 回
期 日 平成 28 年 7 月 19 日 (火)
会 場 国立情報学研究所
- 2) 第 13 回
日 時 平成 29 年 2 月 21 日 (火)
会 場 国立情報学研究所
- 4 国立国会図書館関係
- 1) 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
期 日 平成 28 年 11 月 24 日 (木)
会 場 国立国会図書館東京本館
- 5 著作権関係
- 1) 平成 28 年度第 1 回大学図書館著作権検討委員会・ワーキンググループ合同会議
期 日 平成 28 年 6 月 21 日 (火)
会 場 慶應義塾大学

I-4 事業

- 1 大学図書館シンポジウム
- テーマ 10 年後の大学図書館を考える～オープンアクセス時代の大学図書館の新たな役割
- 期 日 平成 28 年 11 月 10 日 (木) 13:00-17:00
会 場 パシフィコ横浜 (第 18 回図書館総合展会場)
備 考 日本図書館協会大学図書館部会と共催
- 2 図書館総合展フォーラムへの協力
- テーマ 残された紙の残された問題を解決する～館内コピー・ILL・デジタル変換～
- 期 日 平成 28 年 11 月 8 日 (火) 13:00-14:30
会 場 パシフィコ横浜 (第 18 回図書館総合展会場)
主 催 図書館総合展運営委員会
協 力 大学図書館著作権検討委員会
- 3 出版
- 1) 大学図書館協力ニュース
Vol.37 No.1～6 発行
- 2) 大学図書館研究
No.104～105 刊行

II 主要事項

II-1 国公立大学図書館協力委員会関係

1 国際 ILL タスクフォース関係

ISO プロトコルの変更に伴い平成 29 年 7 月をもって現行の GIF の枠組みの下での日米間の ILL が停止する見込みであることを受け、当該タスクフォースでは、代替手段として、平成 29 年 4 月から「エージェント方式」へ移行する提言を、平成 28 年 10 月にまとめた。

その後、当該タスクフォースでは、エージェントを民間業者に委託する方法、大学図書館が引き受ける方法について検討を行ったが、予算面でも、運用面でも安定した業務を担うことができるエージェントを確立できる可能性が低いと判断した。GIF の現状分析を行った結果も鑑み、現行の GIF の継続を平成 30 年 3 月までとして新たなフレームワークの検討を提唱する最終報告を 3 月末日にまとめ、タスクフォースの活動は終了となった。

2 Web サイト構築タスクフォース関係

国公立大学図書館協力委員会 Web サイトについて、開発が終了し、平成 29 年 4 月 3 日よりテスト公開を開始した。Web サイトのドメイン名は julib.jp とした。

Web サイト構築タスクフォースは活動を終了し、Web サイトの改良及び改修に係る企画立案及び調整等を行う Web サイト運用チームを設置した。各協（議）会からのニュースと「大学図書館研究」の掲載を軸にコンテンツを整え、正式公開に向けた準備を進めている。

3 「大学図書館研究」のオープンアクセス化について

「大学図書館研究」は、107 号（7 月末刊行予定）より J-STAGE からオープンアクセス誌として公開を予定しており、106 号をもって冊子体の刊行を終了する。

バックナンバーについては、明示的な辞退の意思表示のあったものを除き網羅的に公開を行うことを平成 28 年 12 月に周知し、現在論文搭載のための作業中である。

4 「大学図書館協力ニュース」の終刊について

「大学図書館協力ニュース」は、国公立大学図書館協力委員会 Web サイトでその機能を代替し、Vol.37 No.6（平成 29 年 3 月 31 日発行）をもって刊行を終了した。

5 出版者著作権管理機構（JCOPY）との「大学図書館間協力における資料複製に関する利用許諾契約」の終了

一般社団法人出版者著作権管理機構（JCOPY）より大学図書館著作権検討委員会に対して、平成 28 年 6 月 30 日をもって契約を終了する旨の通知があり、終了を受け入れた。今後、復活の可能性を探るとともに、新たな契約の検討を行っていく。

II-2 大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議関係

1 これからの学術情報システム構築検討委員会関係

「NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（基本方針）」が平成 28 年 7 月に開催された第 12 回大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議において承認された。

また、平成 29 年 2 月、システム開発に必要な機能項目、運用方法及び移行計画を示した「NACSIS-CAT/ILL の軽量化・合理化について（実施方針）」を作成し、大学図書館等参加館に通知・公開した。

2 オープンアクセスリポジトリ推進協会および機関リポジトリ推進委員会関係

オープンアクセスリポジトリ推進協会（以下 JPCOAR）設立総会が平成 28 年 7 月 27 日に行われ、初代会長に早稲田大学、監事に立教大学、信州大学が選出された。11 月には参加機関の入会受付を開始した。

設立以降、機関リポジトリ推進委員会が JPCOAR の運営に当たってきたが、平成 29 年度より、機関リポジトリ推進委員会の活動は JPCOAR 運営委員会へ移行することとなった。今後は JPCOAR 未参加機関に対する参加の働きかけを行っていく。

3 SCOAP³ フェーズ 2（2017 年-2019 年）への対応について

平成 29 年から開始する SCOAP³ フェーズ 2 への対応として、平成 28 年 6 月に、大学図書館と国立情報学研究所との連携・協力推進会議の下にタスクフォースを設置することが承認され、活動を開始した。9 月～10 月に国内各大学図書館に対し参加意向調査を実施し、38 機関から参加の回答を得た（1 月末現在）。

また、研究者の SCOAP³ への理解を深めることを目的として、CERN で SCOAP³ の事務局長を務めている Salvatore Mele 氏を招聘し、12 月 7 日と 8 日に高エネルギー物理学研究者を対象とした会合を開催した。

今後は、最終的な拠出額を確定し、CERN との MoU 締結を行う予定である。

II-3 機関リポジトリ推進委員会関係

1 第 11 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 28 年 5 月 13 日（金）

会 場 国立情報学研究所

2 第 12 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 28 年 10 月 21 日（金）

会 場 国立情報学研究所

3 第 13 回機関リポジトリ推進委員会

期 日 平成 29 年 2 月 3 日（金）

会 場 国立情報学研究所

II-4 これからの学術情報システム構築検討委員会関係

1 第 14 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 28 年 6 月 29 日（水）

会 場 国立情報学研究所

2 第 15 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 28 年 10 月 20 日（木）

会 場 国立情報学研究所

3 第 16 回これからの学術情報システム構築検討委員会

期 日 平成 29 年 1 月 30 日 (月)

会 場 国立情報学研究所

Ⅱ-5 国立国会図書館関係

1 平成 28 年度国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会

1) テーマ報告「オープンサイエンス時代における図書館の役割」

① 石渡裕子氏 (国立国会図書館利用者サービス部長)

「国立国会図書館における取組」

② 西川博昭氏 (筑波大学附属図書館長)

「オープンサイエンスと大学図書館」